

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人権と法		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
神谷 直樹	C312	nkamiya	木曜日 10:30~12:20		
授業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業は、「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」(憲法第97条)としての基本的人権について学習することを通じ、一人の社会人・職業人として人権問題に適切に対処できるジェネリックスキル(社会人基礎力)を身につけてもらうことを目的とする。</li> <li>・この授業では、人権の歴史的発展、現状と課題についての理解を深めるとともに、各回の授業で取り上げる人権に関して、憲法の条文、関連法規、裁判所の判例、国際条約と関連づけながら説明する。</li> <li>・各回の授業における課題学習を通じて、一見抽象的に見える憲法の人権規定が、私たち一人ひとりの生活と密接に関わっていることへの理解を深めてもらう。</li> <li>・課題学習に積極的に取り組むことにより、人権をめぐる生じている様々な問題の解決策を自ら考える力を養う。</li> </ul>				
学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの身近なところで起きている人権をめぐるトラブルや事件に関心を持ち、新聞やテレビのニュース、インターネットなどで取り上げられる社会の動向に注目する習慣を身につけましょう</li> </ul>				
教科書	人権入門〔第3版〕/著:横藤田 誠・中坂恵美子/法律文化社/(2017)				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人権保障の歴史と人権の本質について説明することができる。			HSU(1)(2)	
②	日本国憲法に規定された基本的人権の内容と関連法規について説明することができる。			HSU(4)	
③	現代日本における人権問題を理解し、解決に向けた具体策を見いだすことができる。			HSU(5)	
④	人権の国際的保障の現状と課題を理解し、解決に向けた道筋を見いだすことができる。			HSU(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	この授業の概要。憲法と人権の本質について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
2	人権思想と人権保障の発展について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
3	大日本国憲法と日本国憲法の人権について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
4	個人の尊重と幸福追求権について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
5	精神的自由権について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
6	人身の自由、法定手続きの保障について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
7	経済的自由権と公共の福祉について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
8	生存権、教育を受ける権利について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
9	勤労権、労働三権、労働三法について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
10	ジェンダーをめぐる人権、女性差別撤廃条約について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
11	子どもの人権、子どもの権利条約について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
12	外国人の人権、難民条約、人種差別撤廃条約について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
13	障害者の権利、障害者権利条約について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
14	新しい人権と今後の課題について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

15	まとめ。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4					
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	50	0	0	50	100		
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20		
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	20	40		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20		
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①	✓	学期末レポートは、Teams 上で指定した形式、分量で提出する。成績は Teams 上に示した採点基準に従って評価する (50 点満点)。				提出された期末レポートは、コメントを付して返却し、最終授業の「まとめ」の中で全体の講評を行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	毎回の授業で提出された「課題」は、Teams 上に示した採点基準に従って成績評価の対象とする (合計 50 点満点)。				提出された「課題」はコメントを付して返却する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>担当教員：神谷直樹</p> <p><b>実践的授業の内容</b>：本科目では、一見抽象的に見える憲法の人権規定や法律の規定が、私たち一人ひとりの生活と密接に関わっていることへの理解を深めてもらうために、時事的なニュースを積極的に取り上げ、意見交換を行う。</p> <p>本科目は登校による対面授業を予定しているが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。やむを得ず Teams を使った同時双方向型授業となる場合は、通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p>									